

## 樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画

---

---

( 平成 26～29 年度 < 4 年間 > )

平成 27 年 2 月

(平成 29 年 3 月変更)

胎 内 市

# 目次

1. 計画の策定にあたって.....	1
2. 樽ヶ橋エリアの現状.....	2
2.1 樽ヶ橋エリアの背景.....	2
2.2 樽ヶ橋エリアの施設等.....	3
3. 樽ヶ橋エリア活性化の基本方針・基本施策.....	8
3.1 基本方針.....	8
3.2 エリア構成.....	8
3.3 基本施策.....	8
4. 施設ごとの具体的展開（実施計画）.....	10
4.1 目標値.....	10
4.2 施設ごとの施策.....	10

検討経過、委員名簿

# 1. 計画の策定にあたって

---

---

## 策定の目的

樽ヶ橋エリア一帯は、古くから景勝地として知られ、旧黒川村時代には胎内観音や樽ヶ橋遊園などの各種施設が整備・建設され、風光明媚な観光地として親しまれてきました。

平成 20 年に胎内市観光振興ビジョンが策定され、このエリアに胎内市観光交流センター及び樽ヶ橋河川公園が整備されたことを機に、施設群を活用した一層の活性化を図る必要性が高まっています。

この「樽ヶ橋エリア活性化基本計画」及び「実施計画」はこうした背景を踏まえ、樽ヶ橋エリアの活性化に向け、このエリアが今後目指すべき姿を示すとともに、整備や取組みの具体的な方向性を示すことを目的として策定したものです。

## 位置づけ

この計画は「第 1 次胎内市総合計画（基本構想・基本計画）＜平成 18 年度策定＞」や「胎内市観光振興ビジョン＜平成 20 年度策定＞」、「第 2 次胎内リゾート活性化マスタープラン＜平成 25 年度策定＞」、「第 2 次胎内リゾート活性化アクションプラン＜平成 25 年度策定＞」などの計画を踏まえ、樽ヶ橋エリアが今後目指すべき姿、取組みの方向性、及びエリア内の各施設における具体的な施策について整理したものです。

## 計画の期間

この計画の期間は、関連する計画である「第 2 次胎内リゾート活性化マスタープラン」の目標年次に合わせ、平成 26 年度から平成 29 年度までの 4 年間とします。

## 2. 樽ヶ橋エリアの現状

---

---

### 2.1 樽ヶ橋エリアの背景

#### ●位置

樽ヶ橋エリアは、胎内川の中流域、胎内川が蔵王山塊と楡形山脈に挟まれた山間部から越後平野に流れ出る、扇状地の扇の要部分にあたります。胎内川に架かる「樽ヶ橋」を中心としたエリアです。

#### ●歴史・伝説

樽ヶ橋の歴史は古く、平安時代から鎌倉時代初期にかけて「奥山荘」を中心に栄えた城氏一族の砦が、この樽ヶ橋の南、鳥坂山から白鳥山にかけて築かれました。城氏滅亡の際、鳥坂城主・城小太郎資盛を落ち延びさせるために、吾妻鏡で有名な叔母の板額御前が最後の力を振り絞って山上の岩を蹴落として橋台とし、丸太を渡したという伝説があり、その城小太郎が渡ったことで名がついた「小太郎が橋」が、やがて「樽ヶ橋」になったと伝えられています。

樽ヶ橋の北の蔵王山塊には黒川城跡や蔵王権現、南の「日本一小さい山脈」楡形山脈には鳥坂城跡などの史跡があり、歴史の舞台に囲まれています。

#### ●景勝地

樽ヶ橋は巨岩の間を勢いよく流れる胎内川の溪流の景観とともに、古くから藤の花や鮎の名所として知られてきました。

現在は美しいアーチ形の樽ヶ橋が掛けられ、緑深い周囲の景観に溶け込んでいるほか、周辺に胎内観音、樽ヶ橋遊園、黒川郷土文化伝習館、胎内市美術館、クアハウスたいないなどの施設が配置され、胎内市民にとっての憩いの場となっています。（胎内二王子県立自然公園の一部に指定）

## 2.2 樽ヶ橋エリアの施設等

### ①樽ヶ橋エリアの施設・見どころ

自然豊かで風光明媚な樽ヶ橋エリアには、観光交流センター・越後胎内観音のほか、いくつかの観光施設・文化施設等が集積している。

#### ●観光交流センター

昭和47年に開設された国民宿舎（胎内グランドホテル）の跡地に建設され、平成22年にオープンした観光案内・観光交流施設。当施設をはじめ、樽ヶ橋周辺の施設群が道の駅胎内として登録されている。※

#### ●樽ヶ橋遊園

昭和52年開園。メリーゴーラウンドなどの遊具、ゴーカートなどの乗り物や、動物園、レクリエーション広場などを備えた遊園地。

#### ●黒川郷土文化伝習館

昭和55年開設。当初は旧黒川村の、現在は胎内市の考古・歴史・民俗文化を紹介する施設。火起こしなど、さまざまな歴史体験ができる。

#### ●胎内市美術館

平成28年開設。木のぬくもりを感じる館内で、胎内市に所在する古代から現代までの貴重な美術品や、郷土ゆかりの作家作品などを鑑賞できる美術館。談話室では作品づくり体験なども楽しむことができる。

#### ●クアハウスたいない

平成6年開設。新樽ヶ橋温泉を利用した温泉浴槽、温水プール、トレーニングルーム等を備えた健康増進施設。

#### ●越後胎内観音

昭和45年に羽越水害（昭和42年）の殉難者の冥福と、災害復興、国土の安全、世界の平和を祈り、建立。総丈7.3メートル、重量4トンの日本最大級の青銅製観音像。

#### ●橿形山脈登山道と鳥坂城跡

当エリアは橿形山脈縦走コースの北端にあたり、鳥坂山へ通じる胎内観音コースの登山口がある。鳥坂城には板額御前が奮戦したエピソードが伝えられている。（国指定史跡奥山荘城館遺跡の一部）

### ●蔵王山塊と黒川城跡・蔵王権現遺跡

いずれも樽ヶ橋北側の蔵王山塊にある黒川氏関連の遺跡。黒川城は下館要害山の尾根上にあり山城の遺構が現存する。蔵王権現は黒川氏代々の祈願所として蔵王山に祀られ、権現堂などが残る。（国指定史跡奥山荘城館遺跡の一部）

### ●大蔵神社

中世には黒川氏の鎮守であり、江戸時代には黒川藩主代々が崇拝した神社。境内には新潟県最大級の傘松の根株（市指定文化財）が保存されている。黒川氏城館遺跡群の山麓にあり、当時の土塁等も残る。

### ●樽ヶ橋河川公園

平成23年度に胎内川河川敷に憩いの広場として整備された。

### ●黒川フルーツパーク

果樹栽培の振興と都市・農村交流を目的に、平成8年に開設。

### ●黒川石油公園・シンクルトン記念館

黒川石油公園は昭和61年に整備され、平成6年に公園内の臭水油坪が国史跡に指定される。シンクルトン記念館は平成8年に公園内に開設され、古く日本書紀にも記録されている、この地から湧出する「燃える水（石油）」を紹介する。毎月7月1日に黒川燃水祭を開催している。

### ●胎内川頭首工・ふれあい公園

胎内川頭首工は平成元年に完成し、胎内川下流域の農業用水を取水している。胎内川沿岸土地改良区に隣接するふれあい公園は、せせらぎ水路・築山などが整備され、サクラ並木、イチョウなどさまざまな木々がみられる。郷土の偉人奥村誠吉の胸像、伊藤孝二郎の記念碑も立つ。

### ●越後胎内水天宮

羽越水害の復興と永遠に災禍から免れる願いを込めて、昭和44年に江戸時代から胎内川守護神として祀っていた水神様を合祀して建立。胎内川右岸の流紋岩の岩山に鎮座する姿は、赤松などの自然林と一体化して溪谷美をかもし出す。

### ●胎内川の鮎と鮭

樽ヶ橋附近の胎内川は古くから鮎の名所として知られており、現在でもアユ釣りを楽しむ人が訪れるほか、サケの遡上も見られる。

●鳥坂神社（馬頭観音）

下赤谷にあり、平安時代には馬頭観音像を本尊に城氏の守護神として崇拝され、江戸時代には近隣から多くの人々が祭礼に訪れ賑わった。境内に立つ大樅は、正徳3（1713）年観世音堂建立当時のものとして市指定文化財（天然記念物）に指定されている。祭礼が4月18日に行われる。

●有楽荘

昭和58年開設の~~高齢者センター~~福祉交流センター。平成29年に改修し、食堂を新設予定。

※ 現在「道の駅胎内」に登録されている施設は、中核施設である観光交流センターのほか、樽ヶ橋遊園、黒川郷土文化伝習館、クアハウスたいない、越後胎内観音。休憩施設・観光案内所・温泉施設・遊園地・歴史資料館など多様な機能が集積した道の駅となっている。平成6年4月に登録された。

## ②樽ヶ橋エリアの観光客数

樽ヶ橋エリアの過去5年間の観光客数（入込客数）を見ると、平成24年度まではほぼ横ばいで推移していましたが、平成25年度は約23万9000人であり、前年より増加しています。特に観光交流センター・クアハウスたいない・樽ヶ橋遊園などで入込客数が増加傾向にあります。

表 樽ヶ橋エリア各観光地点の入込客数（過去5年間）

観光地点名	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
観光交流センター	0	27,880	23,540	21,770	36,810
樽ヶ橋遊園	19,090	17,660	38,130	24,450	31,830
黒川郷土文化伝習館	2,440	1,720	2,890	1,820	2,570
クアハウスたいない	119,510	130,040	113,370	125,730	132,740
越後胎内観音	22,620	20,650	24,190	20,380	22,030
楡形山ハイキング	12,260	9,050	9,350	8,180	7,830
シンクルトン記念館	1,210	990	2,760	2,280	2,290
有楽荘	3,050	2,770	3,030	2,990	3,020
樽ヶ橋エリア合計	180,180	210,760	217,260	207,600	239,120



## **3. 樽ヶ橋エリア活性化の基本方針・基本施策**

---

---

### 3.1 基本方針

「胎内市観光振興ビジョン」の基本方針を踏襲し、「どこにでもある田舎からオンリーワンのふる里」づくりを進め、また、胎内リゾートへの入口と位置づけられる場所として、胎内市の観光振興、地域の活性化へとつなげていくことを目指します。

### 3.2 エリア構成

胎内市民の憩いの場として位置づけ、当エリア内の観光資源を有機的に結び付けてその魅力を最大限に発信するとともに、胎内リゾートと中条エリアの結節点として、これらエリアを結び付ける観光の発信地として位置づけます。

### 3.3 基本施策

基本方針実現に向けた基本施策は以下の通りです。

#### **①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくりの推進**

- 観光交流センターを観光交流・観光情報の発信地として、観光協会を主体とした人員体制及び人材育成を強化します。

#### **②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携**

- 観光資源を有効に活用し、エリアの自然・歴史・文化・芸術・食・産業などの魅力を誘客に繋げるため、胎内リゾート魅力向上委員会を主体として、定期的に委員会を開催しながら、市内の事業者や施設間の情報共有と連携を図ります。
- また、イベントや体験等を活用したエリア全体での集客力の向上に取り組めます。(体験コースの設定、着地型ツアーとの結び付けなど)

#### **③エリアへの訪問者の満足度の向上のための人材育成**

- エリアの各施設の担当が訪問者を気持ちよく迎え入れることができる

ように、観光ボランティアを含めた観光ガイドなどの人材育成を実施します。

## 4. 施設ごとの具体的展開（実施計画）

### 4.1 目標値

樽ヶ橋エリアの入込客数目標は以下の通りです。

観光地点名	現状値	目標値
	H25年度	H29年度
観光交流センター	36,810	50,000
樽ヶ橋遊園	31,830	48,000
黒川郷土文化伝習館	2,570	3,450
胎内市美術館	-	4,600
クアハウスたいない	132,740	150,000
越後胎内観音	22,030	25,000
楡形山ハイキング	7,830	11,460
シンクルトン記念館	2,290	3,450
有楽荘	3,020	3,300 20,000
樽ヶ橋エリア合計	239,120	299,260 315,960

### 4.2 施設ごとの施策

#### (1)たるが橋観光交流センター

##### 【基本方針】

- 地域及び地域外との交流機能を促進することができる方策の充実
- 観光案内の充実に資する情報の確保
- 活性化を目的とした行政・地域と連携したイベントの企画と運営

#### ①営業・販売

##### a. 道の駅の名物や軽食メニューを増やす

- ・樽ヶ橋エリア来訪者への飲食の案内に関しては胎内リゾートなどへ誘導するほか、土日祝日限定の「道の駅の名物」や「軽食メニュー」を増やす。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市観光協会]

#### b. 取扱特産品の種類の充実

- ・特産品の種類を充実させ、それらを利用した観光PRを実施する。
- ・酒類販売免許を新たに取得し、胎内産ワイン・ビールの販売を行う。  
(実施年度：平成26～29年度)  
[実施担当：胎内市観光協会]

#### c. 体験ツアー・着地型ツアーの実施

- ・旅行業者と提携し、体験ツアーや着地型ツアーを実施する。  
(実施年度：平成26～29年度)  
[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

#### d. エリアの案内板やパンフレットの作成

- ・エリア全体の概要がわかる案内板やパンフレットを作成する。  
(実施年度：平成26～29年度)  
[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

#### e. 胎内川のアユ・サケのPRと活用

- ・胎内川のアユやサケのPR及びこれらを活用したイベント等を行う。  
(実施年度：平成27～29年度)  
[実施担当：胎内市観光協会・胎内川漁業協同組合]

### ②人材

#### a. 観光協会の人員体制・人材育成強化

- ・観光情報の発信やPR活動ができる観光協会の人員体制及び人材育成の強化を図る。  
(実施年度：平成26～29年度)  
[実施担当：胎内市観光協会]

#### b. 観光ボランティアガイドの人材育成

- ・胎内市を案内する観光ボランティアガイドの人材育成を行う。  
(実施年度：平成26～29年度)  
[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

### ③施設

#### a. 電気自動車用充電設備の整備

- ・道の駅としてのサービス向上を図るため、電気自動車用充電設備を整備する。  
(実施年度：平成28年度)

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

**【資金計画】**

H26	H27	H28	H29
29,467 千円	30,574 千円	34,489 千円	50,889 千円

指定管理料・胎内市観光協会に対する負担金など。

**(2) 樽ヶ橋遊園**

**【基本方針】**

**●見るだけでなく、動物たちと触れ合える動物園**

**①営業・販売**

**a. 周辺施設と連携による団体客の獲得**

- ・ホテルやアウレツ館と連携し、動物とのふれあいを中心とした「見る」・「聞く」・「触れる」の体験型プランの提供・実施

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**b. ガイド説明による付加価値の向上**

- ・今までの「ご自由にご覧ください」から、希望する団体（特に保育園など）には、園内職員による動物のガイド説明を行い、「楽しむ」に「学ぶ」をプラスしたサービス向上の検討・実施

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**c. 新規目玉動物の導入**

- ・H23 年 4 月にアルパカを導入し、雑誌やマスコミ等に取り上げられた効果もあり、新潟県内には認知されてきた。今後さらに誘客につながる目玉となる動物の導入の検討を行う。

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**d. 冬季営業の検討**

- ・胎内リゾート各施設のモデルケースとして、冬期営業を具現化するための

方策を検討する。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

## ②施設

### a. 新たな遊具の整備

- ・ 幼児が安心して遊べ、ターゲットとなるファミリー層の誘客につながる大型遊具の新規導入を検討

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### b. テニスコートスペースの活用方法の検討

- ・ 現在、使用していないテニスコートスペースの有効活用を検討

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### c. 空き地スペースの活用

- ・ 旧迷路用地の空き地スペースの活用を検討する。~~(伝習館の縄文体験コースの一部取り込み、縄文式住居の建設、バーベキュー施設の設置など)~~

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### d. 園内看板の整備

- ・ 飼育している動物の檻に、名称・特徴など統一した表示看板を設置する。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### e. 計画的な施設改修

- ・ 老朽化に伴う施設の改修について、維持補修計画に基づき、順次計画的に実行する。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### f. 藤だな・やまぼうしの活用

- ・ 園内の藤だな・やまぼうしを再整備し、活用する。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### ~~g. 第2入園口の整備~~

- ~~・第2駐車場側の入園口の整備を検討する。~~

~~(実施年度：平成27～29年度)~~

~~[実施担当：胎内市]~~

### g. 屋内休憩所の整備

- ・日除け・雨天時などに活用できる屋内休憩所を新設する。

(実施年度：平成29～30年度)

[実施担当：胎内市]

## ③人材

### a. ガイド説明スタッフの育成

- ・園内の動物ガイド説明も行える人材の育成（観光協会の観光ボランティアガイド人材育成と連携）

(実施年度：平成27～29年度)

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

### 【資金計画】

H26	H27	H28	H29
13,206千円	19,663千円	24,958千円	58,518千円

## (3) 黒川郷土文化伝習館

### 【基本方針】

- 誰でも気軽に楽しめる体験プログラムの充実化を図る
- 単なる生涯学習施設ではないスタッフの対応と展示の面白さを追及

## ①プログラム

### a. 新たなプログラム(見学・体験)の開発

- ・胎内リゾート内の文化財・遺跡を紹介するツアーの開催
- ・鳥坂城～黒川城登山体験の中間拠点として登山計画
- ・子供から大人まで気軽に楽しめる体験プログラム（縄文火起こし・弓矢体験・まが玉づくり・紙づくりなど）の実施

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**b. 企画展の開催、展示替えの実施**

- ・市民の方々、来客者の意見を取り入れながら実施

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**c. 胎内市の文化財・遺跡を紹介するツアーの実施**

- ・樽ヶ橋エリアを含めた胎内市全域の文化財・遺跡を紹介するツアーを実施する。(観光ボランティアガイドとも連携する)

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

**d. 体験プログラムの更なるPR**

- ・現在、実施中の体験プログラム（縄文火起し・弓矢体験・まが玉づくりなど）の更なるPRと、樽ヶ橋遊園の空き地スペースの活用（伝習館の縄文体験コースの一部取り込み、縄文式住居の建設など）

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**②施設**

**a. 胎内市の歴史文化を発信基地としての認知度の向上**

- ・胎内市の通史、偉人などを紹介する展示の充実
- ・資料増加に伴う施設増築の検討

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**b. 文化財総合案内看板の設置**

- ・樽ヶ橋エリアの文化財（黒川城等を含む）を案内する総合案内看板の設置

(実施年度：平成 26 年度)

[実施担当：胎内市]

**③人材**

**a. 解説や指導を行う市民の育成と確保**

- ・施設ボランティアや友の会的な組織づくりの模索（観光協会の観光ボランティアガイド人材育成と連携）

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

【資金計画】

H26	H27	H28	H29
2,547 千円	2,445 千円	2,538 千円	2,528 千円

#### (4)胎内市美術館

【基本方針】

- 胎内市の古代から現代までの美術品を鑑賞できる美術館
- 子どもから大人まで気軽に訪れ、入しやすい美術館
- 芸術愛好家が集う、市民に開放された芸術文化交流施設
- 樽ヶ橋エリア芸術文化ゾーンの魅力向上に寄与する美術館

##### ①プログラム

###### a. 樽ヶ橋エリア内の観光施設、文化施設、自然資源等との連携

- ・隣接する黒川郷土文化伝習館など市内文化施設との連携活用、観光イベントとの連携活用

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

###### b. 地域に密着、貢献した企画展の開催、展示替等の実施

- ・市所有の古代から現代までの美術品を市民に紹介する企画展示
- ・近隣美術館との巡回展の開催
- ・郷土ゆかりの作家作品を中心に、胎内市ならではの展示
- ・胎内市の隠れた名品展の実施（個人所有の美術品の調査、リストの作成）
- ・市民アートギャラリー等による芸術文化の発信
- ・ミニコンサートの実施、講習会、講演会の開催
- ・障がい者も健常者も楽しめる展示の検討
- ・企画展年 4 回・常設展年 3 回入れ替えを予定

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

###### c. 胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施

- ・樽ヶ橋エリアを含めた胎内市所在の美術作品を紹介するツアーの実施。

(友の会・サポーターズクラブ・観光ボランティアガイドと連携して)

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

**d. アート体験プログラムのPR**

- ・学校等への図工、美術授業、社会科見学、遠足などでの利用促進PR
- ・実施予定のアート体験プログラム（木工・版画・ハンドクラフトなど）のPRと、隣接する黒川郷土文化伝習館体験と連携した豊富な体験コースのPR。胎内の自然の中で実施するアートキャンプのPR。
- ・新潟県博物館協議会に加盟し、県内美術館でのPR実施。

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**e. 芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究**

- ・郷土から芸術家を誕生させるための支援
- ・学校の美術担当教員向けの展示美術品説明

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**②施設**

**a. 施設前庭、周辺環境の整備**

- ・入りやすいアプローチ（芝生・植樹・花壇・ベンチ等の設置）

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**b. 展示収蔵室の維持管理**

- ・展示室、収蔵庫の管理徹底

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**c. 美術館案内看板の設置**

- ・樽ヶ橋エリアへの導線に誘導案内看板を設置

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：胎内市]

### ③人材

#### a. 解説や指導を行う市民の育成と確保

- ・施設ボランティア（サポーターズクラブ）や友の会などの組織づくり（観光ボランティアガイド育成と連携）

（実施年度：平成 28～29 年度）

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

#### 【資金計画】

H26	H27	H28	H29
-	-	9,274 千円	9,198 千円

### (5)クアハウスたいない

#### 【基本方針】

●胎内リゾートの活性化(魅力向上)へ向けた「情報発信・誘引」

#### ①営業・販売

##### a. 胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売

- ・胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売

（実施年度：平成 26～29 年度）

[実施担当：指定管理者]

##### b. 胎内リゾート施設利用者へ、クアハウスたいない利用割引サービス

- ・クアハウスたいないを利用した方へ胎内リゾート施設の割引利用券等の発行を検討

（実施年度：平成 26～29 年度）

[実施担当：指定管理者]

##### c. 新規企画の実施

- ・登山コースの整備と同時に、各施設と連携した集客対策を検討・実施する。（各種トレッキングツアーの企画検討等）

（実施年度：平成 26～29 年度）

[実施担当：指定管理者]

**d. 新たな観光客や新規会員の誘客対策**

- ・利用客の内 8 割が会員なので、ファミリーで過ごせるレジャー施設として新たな観光客や新規会員の誘客対策を検討する。(エリア内での共通利用割引券等の検討)

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：指定管理者]

**e. 民間活力の利用**

- ・指定管理者制度等民間活力を利用した運営を行う。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**f. 利用料金の適正化**

- ・利用料金の適正化を検討する。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市・指定管理者]

**②施設・コース**

**a. (胎内リゾート利用者へ)レジャーおよびレストスペースの推進**

- ・施設の性質および設備面から、全面的に『日帰り温泉』と打ち出すには少々無理がある。しかし、家族一緒に温泉つかり過ごせるバーデゾーンやウォータースライダーがあり、レジャーおよびレストスペースとして利用促進を目指す。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：指定管理者]

**b. 計画的な施設改修**

- ・老朽化に伴う施設の改修について、維持補修計画に基づき、順次計画的に実行する。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市]

**③人材**

**a. 胎内リゾートへのコンシェルジュ機能を向上**

- ・お客様から「この辺で食事ができる所はないか？」との問い合わせが多い。そのような場合に胎内リゾート内の飲食施設等を案内するように誘

引セールスしたい。また、胎内リゾート各施設観光する『周遊マップ』  
等のような物もあれば、積極的な情報発信も可能となる。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：指定管理者]

#### 【資金計画】

H26	H27	H28	H29
29,301 千円	48,245 千円	41,116 千円	74,877 千円

指定管理料・修繕工事費など。

### (6)越後胎内観音

#### ①PR

##### a. パワースポットとしての情報発信

- ・パワースポットやご利益などの観光的要素を盛り込みながら情報発信する。

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：越後胎内観音奉賛会・胎内市観光協会]

##### b. 歴史文化財としてPR

- ・昭和 42 年の羽越水害の殉難者の冥福と災害復興等を祈って建立された  
歴史的経緯を鑑み、歴史文化財と位置づけてPRを行う。

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：越後胎内観音奉賛会・胎内市観光協会]

#### ②施設

##### a. 敷地内の整備

- ・現在使用していない売店建物について、民間事業者の運営による有効活  
用を図る。(飲食の提供等) 改装等の必要な整備は、民間事業者の資金  
により行う。

(実施年度：平成 28～29 年度)

[実施担当：越後胎内観音奉賛会]

## (7) 櫛形山脈・蔵王山塊

### ①整備

#### a. 蔵王山塊と櫛形山脈の登山ルートを活用

- ・蔵王山脈・蔵王山塊や櫛形山脈を散策するツアーを実施する。(黒川城に関する史跡をコースに含む)  
(実施年度：平成 26～29 年度)  
[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

#### b. 樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備

- ・樽ヶ橋を拠点とした周回コース（観音コース～黒中コース）を整備する。  
(実施年度：平成 26～29 年度)  
[実施担当：胎内市]

#### c. 絶景ポイントと看板等の整備

- ・絶景ポイントの確保や看板・ベンチ等の整備と活用を進める。  
(平成 28 年度までハード整備、ソフト事業を平成 27 年度以降実施)  
(実施年度：平成 26～29 年度)  
[実施担当：新潟県・胎内市]

## (8) 樽ヶ橋河川公園

### ①活用

#### a. イベントの開催

- ・樽ヶ橋エリアの周辺施設や胎内リゾートエリアと連携したイベント（胎内川新緑まつり）を開催する。  
(実施年度：平成 26～29 年度)  
[実施担当：胎内市観光協会]

#### b. 健康ウォーキングコースでの利用

- ・健康ウォーキングコースとしての利用を推進する。  
(実施年度：平成 27～29 年度)  
[実施担当：胎内市観光協会]

## ②施設

### a. バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入

- ・イベント以外の通年の活用策を検討する。(バーベキュー広場、簡易レクリエーション設備の導入)

(実施年度：平成 26～29 年度)

[実施担当：胎内市観光協会]

### b. 公園への動線の検討

- ・河川公園への出入りにおける、エリア内の動線を検討する。

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：胎内市観光協会]

- ・観光交流センター駐車場から河川公園に通じる階段通路を整備する。

(実施年度：平成 29 年度)

[実施担当：胎内市]

## (9)有楽荘

### ①施設

#### a. 食堂の新設

- ・施設を改修して施設内に食堂を新設し、樽ヶ橋エリアへの来場者等が食事できる施設として運営する。

- ・胎内産の食材を取り入れたメニューを提供する。

(実施年度：平成 29 年度)

[実施担当：胎内市・指定管理者]

## (9)(10)その他

### ①活用

#### a. フルーツパーク・シンクルトン記念館等周辺施設との連携

- ・フルーツパーク、シンクルトン記念館・石油公園、土地改良区の施設・公園などの施設をエリアの観光施設・観光スポットとして組み入れ、施設間の連携を強化し、誘客に努めていく。

(実施年度：平成 27～29 年度)

[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]

## b. 馬頭観音のPR

- ・下赤谷の鳥坂神社（馬頭観音）の歴史をPRする。  
（実施年度：平成 27～29 年度）  
[実施担当：胎内市観光協会]

## ②施設・整備

### a. エリア来場者向けのトイレの設置

- ・樽ヶ橋エリア来場者向けのバリアフリー対応トイレを胎内市美術館に併設して設置する。（但し、国・県等の補助事業を活用する）  
（実施年度：平成 27 年度）  
[実施担当：胎内市]

### ~~b. 有楽荘の活用~~

- ~~・有楽荘を団体客向けの休憩施設として活用する。  
（実施年度：平成 27～29 年度）  
[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]~~

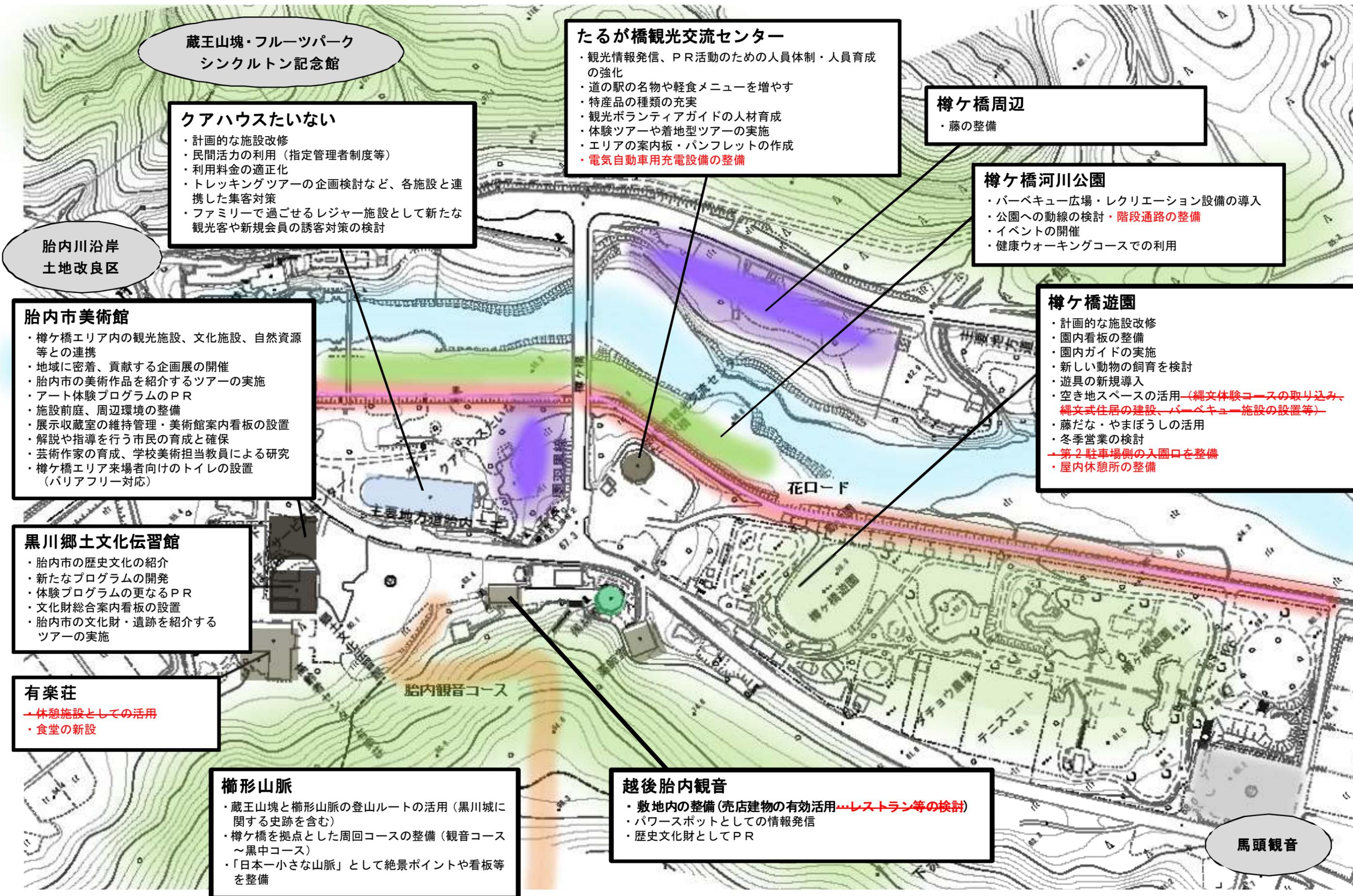
### ~~eb. 藤の整備~~

- ~~・樽ヶ橋周辺に藤を整備する。  
（実施年度：平成 27～29 年度）  
[実施担当：胎内市・胎内市観光協会]~~

### ~~dc. 花ロードの整備~~

- ~~・河川公園から樽ヶ橋遊園にかけて遊歩道に花を植え、「花ロード」として整備する。  
（実施年度：平成 26～29 年度）  
[実施担当：胎内市]~~

# 樽ヶ橋エリア活性化グランドデザイン



蔵王山塊・フルーツパーク  
シンクルトン記念館

**クアハウスたいない**

- ・計画的な施設改修
- ・民間活力の利用（指定管理者制度等）
- ・利用料金の適正化
- ・トレッキングツアーの企画検討など、各施設と連携した集客対策
- ・ファミリーで過ごせるレジャー施設として新たな観光客や新規会員の誘客対策の検討

**たるが橋観光交流センター**

- ・観光情報発信、PR活動のための人員体制・人員育成の強化
- ・道の駅の名物や軽食メニューを増やす
- ・特産品の種類の充実
- ・観光ボランティアガイドの人材育成
- ・体験ツアーや着地型ツアーの実施
- ・エリアの案内板・パンフレットの作成
- ・電気自動車用充電設備の整備

**樽ヶ橋周辺**

- ・藤の整備

**樽ヶ橋河川公園**

- ・バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入
- ・公園への動線の検討・階段通路の整備
- ・イベントの開催
- ・健康ウォーキングコースでの利用

胎内川沿岸  
土地改良区

**胎内市美術館**

- ・樽ヶ橋エリア内の観光施設、文化施設、自然資源等との連携
- ・地域に密着、貢献する企画展の開催
- ・胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施
- ・アート体験プログラムのPR
- ・施設前庭、周辺環境の整備
- ・展示収蔵室の維持管理・美術館案内看板の設置
- ・解説や指導を行う市民の育成と確保
- ・芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究
- ・樽ヶ橋エリア来場者向けのトイレの設置（バリアフリー対応）

**樽ヶ橋遊園**

- ・計画的な施設改修
- ・園内看板の整備
- ・園内ガイドの実施
- ・新しい動物の飼育を検討
- ・遊具の新規導入
- ・空き地スペースの活用（縄文体験コースの取り込み、縄文式住居の建設、バーベキュー施設の設置等）
- ・藤だな・やまぼうしの活用
- ・冬季営業の検討
- ・第2駐車場側の入園口を整備
- ・屋内休憩所の整備

**黒川郷土文化伝習館**

- ・胎内市の歴史文化の紹介
- ・新たなプログラムの開発
- ・体験プログラムの更なるPR
- ・文化財総合案内看板の設置
- ・胎内市の文化財・遺跡を紹介するツアーの実施

**有楽荘**

- ・休憩施設としての活用
- ・食堂の新設

**櫛形山脈**

- ・蔵王山塊と櫛形山脈の登山ルートを活用（黒川城に関する史跡を含む）
- ・樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備（観音コース～黒中コース）
- ・「日本一小さな山脈」として絶景ポイントや看板等を整備

**越後胎内観音**

- ・敷地内の整備（売店建物の有効活用…レストラン等の検討）
- ・パワースポットとしての情報発信
- ・歴史文化財としてPR

馬頭観音

表 施設別の具体的な展開策 一覧(1)

■たるが橋観光交流センター

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
営業・販売	道の駅の名物や軽食メニューを増やす	・樽ヶ橋エリア来訪者への飲食の案内に関しては胎内リゾートなどへ誘導するほか、土日祝日限定の「道の駅の名物」や「軽食メニュー」を増やす。	→	→	→	→	観光協会
	取扱特産品の種類の充実	・特産品の種類を充実させ、それらを利用した観光PRを実施する。 ・酒類販売免許を新たに取得し、胎内産ワイン・ビールの販売を行う。	→	→	→	→	観光協会
	体験ツアー・着地型ツアーの実施	・旅行者と提携し、体験ツアーや着地型ツアーを実施する。	→	→	→	→	市観光協会
	エリアの案内板やパンフレットの作成	・エリア全体の概要がわかる案内板やパンフレットを作成する。	→	→	→	→	市観光協会
	胎内川のアユ・サケのPRと活用	・胎内川のアユやサケのPR及びこれらを活用したイベント等を行う。		→	→	→	観光協会 胎内川漁協
人材	観光協会の人員体制・人材育成強化	・観光情報の発信やPR活動ができる観光協会の人員体制及び人材育成の強化を図る。	→	→	→	→	観光協会
	観光ボランティアガイドの人材育成	・胎内市を案内する観光ボランティアガイドの人材育成を行う。	→	→	→	→	市観光協会
施設	電気自動車用充電設備の整備	・道の駅としてのサービス向上を図るため、電気自動車用充電設備を整備する。			→		市観光協会

表 施設別の具体的な展開策 一覧(2)

■樽ヶ橋遊園

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
営業・販売	周辺施設と連携による団体客の獲得	・ホテルやアウレツ館と連携し、動物とのふれあいを中心とした「見る」・「聞く」・「触れる」の体験型プランの提供・実施		→			市
	ガイド説明による付加価値の向上	・今までの「ご自由にご覧ください」から、希望する団体(特に保育園など)には、園内職員による動物のガイド説明を行い、「楽しむ」に「学ぶ」をプラスしたサービス向上の検討・実施	→				市
	新規目玉動物の導入	・H23年4月にアルパカを導入し、雑誌やマスコミ等に取上げられた効果もあり、新潟県内には認知されてきた。今後さらに誘客につながる目玉となる動物の導入の検討を行う。		→			市
	冬季営業の検討	・胎内リゾート各施設のモデルケースとして、冬期営業を具現化するための方策を検討する。	→				市
施設	新たな遊具の整備	・幼児が安心して遊べ、ターゲットとなるファミリー層の誘客につながる大型遊具の新規導入を検討	→				市
	テニスコートスペースの活用方法の検討	・現在、使用していないテニスコートスペースの有効活用を検討		→			市
	空き地スペースの活用	・旧迷路用地の空き地スペースの活用を検討する。 <del>(伝習館の縄文体験コースの一部取り込み、縄文式住居の建設、バーベキュー施設の設置など)</del>		→			市
	園内看板の整備	・飼育している動物の檻に、名称・特徴など統一した表示看板を設置する。	→				市
	計画的な施設改修	・老朽化に伴う施設の改修について、維持補修計画に基づき、順次計画的に実行する。	→				市
	藤だな・やまぼうしの活用	・園内の藤だな・やまぼうしを再整備し、活用する。	→				市
	<del>第2入園口の整備</del>	<del>・第2駐車場側の入園口の整備を検討する。</del>					<del>市</del>
	屋内休憩所の整備	・日除け・雨天時などに活用できる屋内休憩所を新設する。				→	市
人材	ガイド説明スタッフの育成	・園内の動物ガイド説明も行える人材の育成(観光協会の観光ボランティアガイド人材育成と連携)		→			市 観光協会

表 施設別の具体的な展開策 一覧(3)

■黒川郷土文化伝習館

	名 称	内 容	実施年度				責任担当
			H26	H27	H28	H29	
プログラム	新たなプログラム(見学・体験)の開発	・胎内リゾート内の文化財・遺跡を紹介するツアーの開催 ・鳥坂城～黒川城登山体験の中間拠点として登山計画 ・子供から大人まで気軽に楽しめる体験プログラム(縄文火起こし・弓矢体験・まが玉づくり・紙づくりなど)の実施				→	市
	企画展の開催、展示替えの実施	・市民の方々、来客者の意見を取り入れながら実施				→	市
	胎内市の文化財・遺跡を紹介するツアーの実施	・樽ヶ橋エリアを含めた胎内市全域の文化財・遺跡を紹介するツアーを実施する。(観光ボランティアガイドとも連携する)				→	市 観光協会
	体験プログラムの更なるPR	・現在、実施中の体験プログラム(縄文火起こし・弓矢体験・まが玉づくりなど)の更なるPRと、樽ヶ橋遊園の空き地スペースの活用(伝習館の縄文体験コースの一部取り込み、縄文式住居の建設など)				→	市
施設	胎内市の歴史文化を発信基地としての認知度の向上	・胎内市の通史、偉人などを紹介する展示の充実 ・資料増加に伴う施設増築の検討				→	市
	文化財総合案内看板の設置	・樽ヶ橋エリアの文化財(黒川城等を含む)を案内する総合案内看板の設置	→				市
人材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・施設ボランティアや友の会的な組織づくりの模索(観光協会の観光ボランティアガイド人材育成と連携)				→	市 観光協会

表 施設別の具体的な展開策 一覧(4)

■胎内市美術館

	名 称	内 容	実施年度				責任担当
			H26	H27	H28	H29	
プ ロ グ ラ ム	樽ヶ橋エリア内の観光施設、文化施設、自然資源等との連携	・隣接する黒川郷土文化伝習館など市内文化施設との連携活用、観光イベントとの連携活用			→		市
	地域に密着、貢献した企画展の開催、展示替等の実施	・市所有の美術品を市民に紹介する企画展示 ・近隣美術館との巡回展の開催 ・郷土ゆかりの作家作品を中心に、胎内市ならではの展示 ・胎内市の隠れた名品展の実施 ・市民アートギャラリー等による芸術文化の発信 ・ミニコンサートの実施、講習会、講演会の開催 ・障がい者も健常者も楽しめる展示の検討			→		市
	胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施	・樽ヶ橋エリアを含めた胎内市内の美術作品を紹介するツアーの実施。 (友の会・サポーターズクラブ・観光ボランティアガイドと連携)			→		市 観光協会
	アート体験プログラムのPR	・学校等への図工、美術授業、社会科見学、遠足などでの利用促進PR ・実施予定のアート体験プログラム(木工・版画・ハンドクラフトなど)のPRと、隣接する黒川郷土文化伝習館体験と連携した豊富な体験コースのPR。胎内の自然の中で実施するアートキャンプのPR。 ・新潟県博物館協議会に加盟し、県内美術館でのPR実施。			→		市
	芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究	・郷土から芸術家を誕生させるための支援 ・学校の美術担当教員向けの展示美術品説明			→		市
施 設	施設前庭、周辺環境の整備	・入りやすいアプローチ(芝生・植樹・花壇・ベンチ等の設置)			→		市
	展示収蔵室の維持管理	・展示室、収蔵庫の管理徹底			→		市
	美術館案内看板の設置	・樽ヶ橋エリアへの導線に誘導案内看板を設置			→		市
人 材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・施設ボランティア(サポーターズクラブ)や友の会などの組織づくり(観光ボランティアガイド人材育成と連携)			→		市 観光協会

表 施設別の具体的な展開策 一覧(5)

■クアハウスたいない

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
営業・販売	胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売	・胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売	→				指定管理者
	胎内リゾート施設利用者へ、クアハウスたいない利用割引サービス	・クアハウスたいないを利用した方へ胎内リゾート施設の割引利用券等の発行を検討	→				指定管理者
	新規企画の実施	・登山コースの整備と同時に、各施設と連携した集客対策を検討・実施する。(各種トレッキングツアーの企画検討等)	→				指定管理者
	新たな観光客や新規会員の誘客対策	・利用客の内8割が会員なので、ファミリーで過ごせるレジャー施設として新たな観光客や新規会員の誘客対策を検討する。(エリア内での共通利用割引券等の検討)	→				指定管理者
	民間活力の利用	・指定管理者制度等民間活力を利用した運営を行う。	→				市
	利用料金の適正化	・利用料金の適正化を検討する。	→				市 指定管理者
施設・コース	(胎内リゾート利用者へ)レジャーおよびレストスペースの推進	・施設の性質および設備面から、全面的に『日帰り温泉』と打ち出すには少々無理がある。しかし、家族一緒に温泉つかり過ごせるバーデゾーンやウォーターライダーがあり、レジャーおよびレストスペースとして利用促進を目指す。	→				指定管理者
	計画的な施設改修	・老朽化に伴う施設の改修について、維持補修計画に基づき、順次計画的に実行する。	→				市
人材	胎内リゾートへのコンシェルジュ機能を向上	・お客様から「この辺で食事ができる所はないか?」とのお問い合わせが多い。そのような場合に胎内リゾート内の飲食施設等を案内するように誘引セールスしたい。また、胎内リゾート各施設観光する『周遊マップ』等のような物もあれば、積極的な情報発信も可能となる。	→				指定管理者

表 施設別の具体的な展開策 一覧(6)

■越後胎内観音

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
PR	パワースポットとしての情報発信	・パワースポットやご利益などの観光的要素を盛り込みながら情報発信する。				→	越後胎内観音奉賛会 観光協会
	歴史文化財としてPR	・昭和42年の羽越水害の殉難者の冥福と災害復興等を祈って建立された歴史的経緯を鑑み、歴史文化財と位置づけてPRを行う。				→	
施設	敷地内の整備	・現在使用していない売店建物について、民間事業者の運営による有効活用を図る。(飲食の提供等)				→	越後胎内観音奉賛会

■楡形山脈・蔵王山塊

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
整備	蔵王山塊と楡形山脈の登山ルートを活用	・蔵王山脈・蔵王山塊や楡形山脈を散策するツアーを実施する。(黒川城に関する史跡をコースに含む)				→	市 観光協会
	樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備	・樽ヶ橋を拠点とした周回コース(観音コース～黒中コース)を整備する。				→	市
	絶景ポイントと看板等の整備	・絶景ポイントの確保や看板・ベンチ等の整備と活用を進める。(H28までハード整備、ソフト事業をH27～)				→	県・市

表 施設別の具体的な展開策 一覧(7)

■樽ヶ橋河川公園

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
活用	イベントの開催	・樽ヶ橋エリアの周辺施設や胎内リゾートエリアと連携したイベント(胎内川新緑まつり)を開催する。	→				観光協会
	健康ウォーキングコースでの利用	・健康ウォーキングコースとしての利用を推進する。		→			観光協会
整備	バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入	・イベント以外の通年の活用策を検討する。(バーベキュー広場、簡易レクリエーション設備の導入)	→				観光協会
	公園への動線の検討	・河川公園への出入りにおける、エリア内の動線を検討する。 ・観光交流センター駐車場から河川公園に通じる階段通路を整備する。		→			観光協会 市

■有楽荘

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
施設	食堂の新設	・施設を改修して施設内に食堂を新設し、樽ヶ橋エリアへの来場者等が食事できる施設として運営する。 ・胎内産の食材を取り入れたメニューを提供する。			→		観光協会

表 施設別の具体的な展開策 一覧(8)

■その他

	名称	内容	実施年度				责任担当
			H26	H27	H28	H29	
宣伝	フルーツパーク・シンクルトン記念館等周辺施設との連携	・フルーツパーク、シンクルトン記念館・石油公園、土地改良区の施設・公園などの施設をエリアの観光施設・観光スポットとして組み入れ、施設間の連携を強化し、誘客に努めていく。		→	→	→	市観光協会
	馬頭観音のPR	・下赤谷の鳥坂神社(馬頭観音)の歴史をPRする。		→	→	→	観光協会
施設・整備	エリア来場者向けのトイレの設置	・胎内市美術館に、樽ヶ橋エリア来場者向けのバリアフリー対応トイレを設置する。		→			市
	<del>有楽荘の活用</del>	<del>・有楽荘を団体客向けの休憩施設として活用する。</del>			→	→	<del>市観光協会</del>
	藤の整備	・樽ヶ橋周辺に藤を整備する。		→	→	→	市観光協会
	花ロードの整備	・河川公園から樽ヶ橋遊園にかけて遊歩道に花を植え、「花ロード」として整備する。	→	→	→	→	市

## 委員会開催経緯、委員名簿

### 【樽ケ橋エリア活性化基本計画、同実施計画 検討経緯】

回	日 時	主な内容
1	平成 24 年 2 月 9 日(木) 16:00-18:00	樽ケ橋エリアグランドデザインの説明、今後の活性化のための方策について意見交換を実施
2	平成 24 年 12 月 21 日(金) 14:00-16:00	樽ケ橋河川公園竣工合同イベントの開催、検討会スケジュール、アンケート調査の実施について意見交換を実施
3	平成 25 年 3 月 26 日(火) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア施設の現状と課題について意見交換を実施 ① (胎内市観光協会、クアハウスたいない、樽ケ橋遊園)
4	平成 25 年 6 月 20 日(木) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア施設の現状と課題について意見交換を実施 ② (胎内市観光交流センター、黒川郷土文化伝習館、楡形山脈等)
5	平成 25 年 8 月 7 日(水) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア施設の現状と課題を踏まえたハード、ソフト両面からの活性化方策について検討を実施 ①
6	平成 25 年 12 月 6 日(金) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア施設の現状と課題を踏まえたハード、ソフト両面からの活性化方策について検討を実施 ②
7	平成 26 年 2 月 20 日(木) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア施設の活性化の具体的な方策の検討を実施
8	平成 26 年 3 月 17 日(月) 9:30-11:00	樽ケ橋エリア活性化の基本方針・基本構想についての検討、樽ケ橋エリア活性化グランドデザインの見直しについての検討を実施 ①
9	平成 26 年 5 月 22 日(木) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア活性化の基本方針・基本構想についての検討、樽ケ橋エリア活性化グランドデザインの見直しについての検討を実施 ②
10	平成 26 年 7 月 24 日(木) 13:30-15:30	樽ケ橋エリアの施設の現地視察を実施
11	平成 27 年 1 月 13 日(火) 13:30-15:00	樽ケ橋エリア活性化基本計画・実施計画についての検討を実施 ①
12	平成 27 年 2 月 5 日(木) 10:00-11:30	樽ケ橋エリア活性化基本計画・実施計画についての検討を実施 ②
13	平成 27 年 12 月 25 日(金) 10:00-11:30	樽ケ橋エリア活性化基本計画・実施計画の一部変更について検討 樽ケ橋エリア活性化実施計画の進捗状況を報告
14	平成 28 年 3 月 23 日(水) 10:30-12:00	樽ケ橋エリア活性化基本計画・実施計画の一部変更について検討
15	平成 29 年 3 月 28 日(火) 13:00-14:30	樽ケ橋エリア活性化基本計画・実施計画の一部変更について検討 樽ケ橋エリア活性化実施計画の進捗状況を報告

**【樽ヶ橋エリア活性化検討委員会 委員名簿】**

(順不同、敬称略)

三宅 政一(会長)	胎内市 副市長
小野 昭治	一般社団法人胎内市観光協会 副会長
和久井 宏之	新潟県新発田地域振興局 地域振興課長
高橋 忠栄	新潟県新発田地域振興局 計画調整課長
須貝 勝男	一般社団法人胎内市観光協会 事務局長
羽田 一男	黒川地区地域振興協議会
加藤 武	黒川地区地域振興協議会
小野 晋平	一般財団法人越後胎内観音奉賛会
羽田野 一栄	公募委員
田中 良幸	胎内市 地域整備課長

樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画

平成27年2月

(平成29年3月変更)

胎内市

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

TEL:0254-43-6111 FAX:0254-43-5502